

令和3年度事業計画書

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

はじめに

当協会は、平成25年4月1日に内閣府より公益認定を受け、公益社団法人としてスタートを切り、令和3年度は9年目を迎えることとなる。

当協会の目的達成に向け、教育内容の質的向上、学習機会の拡大及び生涯学習の理念である学んだ成果を適切に生かすことのできる社会の実現を推進し、もって我が国における生涯学習の振興に寄与することに努めることとする。

今年度の事業計画は次のとおりである。

(事業活動)

1、生涯学習奨励講座、優良受験指導講座認定事業（公益目的事業）

① 通信教育を通じて知識、技能を修得し、国民生活の質的向上に資する講座を、公益社団法人 日本通信教育振興協会（通称「通教振」）認定の「生涯学習奨励講座」として、また資格取得、検定合格を目指すための受験対策講座で指導内容、指導方法が適切な講座を通教振認定の「優良受験指導講座」としてそれぞれ認定しており、その充実と普及に努める。

② ガイドブック「生涯学習奨励講座・優良受験指導講座のご案内 2022」を制作し、「生涯学習奨励講座」及び「優良受験指導講座」の普及と広報のために、全国の生涯学習センター等に広く配布する。

2、セミナー事業（公益目的事業）

会員及び会員以外の者に対して、社会通信教育に関することをテーマにしたセミナーを企画・開催し、通信教育の質的向上を図る。

3、生涯学習奨励賞表彰事業（公益目的事業）

通信教育講座の中で、生涯学習奨励講座の修了者を対象に、特に講座を優秀な成績で修了した者に対して表彰する制度で、学習内容をさらに深化させるなど学習機会を拡大し、生涯学習の推進を図るものである。

「第33回生涯学習奨励賞表彰の表彰式」を実施（通教振主催）し、また、学習指導員等との交流会を開催する。

4、学習指導員資格認定事業（公益目的事業）

① 通教振が、生涯学習に関わる公益法人としての役割を考え、民間教育事業者が育成した学習者に対して公益団体によって客観的に評価、証明された人材が、その学習成果を適切に生かし、生涯学習の振興に寄与するという目的を実現させる事業である。この事業は、ア、「学習指導員講習」を実施し、生涯学習の指導者、支援者を

養成する事業 イ、学習指導員の資格認定事業 ウ、学習指導員の人材バンクを設立し、関係団体への紹介などの活動支援事業の3事業からの構成となる。
「学習指導員資格」認定制度を推進し、各学習指導員の活動を支援する。

- ② 学習指導員の活動を支援するために、学習指導員機関紙「WeWe21号」を発行し、学習指導員登録者及び全国の生涯学習センター等に配布する。

5、調査研究事業（公益目的事業）

社会通信教育に関することをテーマにしたアンケートを、通教振ホームページに設けるなど、今後の生涯学習に関するニーズ等を把握し、かつ通信教育の質的向上と適正な運営の確保を図ることを目的として、調査・研究する

（管理部門）

情報発信、会員のサポートをより強化し、会員の維持及び入会促進に努める。その方策として入会勧誘の強化、各事業の充実及び通教振組織強化のための交流会の継続などを検討する。

- 1、通教振ホームページ (<http://www.jais.or.jp>) に「生涯学習奨励講座」及び「優良受験指導講座」の紹介をはじめ、学習指導員活動報告、通信教育実施団体の紹介、通信教育に関するアンケート等、トピックスとして通教振の活動状況等を公開する。
- 2、生涯学習（通信教育）に関する情報や通教振の活動を、知らせるために、メールマガジンを発信する。
- 3、会員相互の交流及び関係団体と親睦を図って通教振組織の強化に努める。